

山口尚芳(やまぐちますか)を知っていますか? 文責 学校長



～武雄市歴史資料館で企画展「武雄から世界へ」が開催中です～

1 郷土の偉人・山口尚芳について知ろう。

16日(土)から武雄市図書館・歴史資料館において企画展「武雄から世界へ～山口尚芳を知っていますか～」が開催されています。山口尚芳は武雄町花島出身(武雄青陵中の近く)で、明治維新期に活躍した郷土の偉人です。右の写真は「岩倉使節団」の首脳陣を撮影したのですが、伊藤博文、大久保利通と並んで左から二人目の人物が山口尚芳です。後に会計検査院長、参議院議員、貴族院議員も務めた人です。詳細は是非企画展に出かけて学んでください。



サンフランシスコで撮影された岩倉使節団首脳  
木戸孝允、山口尚芳、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通

【山口尚芳について】武雄町花島の出身。範蔵とも名乗った。幼少から学問に優れ、15才の時、領主鍋島茂義の命で長崎に赴き蘭学を学び、さらに同地に設立された英語伝習所(済美館)でアメリカ人教師フルベッキのもと他藩の俊才としのぎを削った。帰郷後、佐賀本藩の翻訳兼練兵掛となるが、のち、上京して岩倉具視に接近、幕末の倒幕運動では薩長同盟の成立にも奔走したと伝える。明治政府では、外国事務局御用掛をはじめ要職を歴任、1871(明治4)年には外務少輔となり、木戸孝允・伊藤博文・大久保利通とともに岩倉使節団の全権副使を拝命した。岩倉具視を大使に据え、米・欧の国々を回覧する総勢100名余の使節団の中で、山口が幕末・維新期に活躍した木戸・伊藤・大久保と対等に肩を並べ得たのは、彼もまたひとかどの人物として、一目置かれる存在であったからに他なりません。

1874(明治7)年の佐賀の乱で、山口の郷里武雄は佐賀からの強い要請に抗し切れず、士族団64名を出兵させる。一方、山口は騷擾鎮撫の命を帯び、警備兵を率いて佐賀に入城、鎮圧に努めた。乱勃発当初、武雄が領内の動揺を抑止し、出兵を拒否、態度を留保し続けた背景には、領主鍋島茂昌に対する山口の諫言があり、乱後、武雄が赦免された背景にも、山口の奔走があった。1875年、山口は元老院議員となり、1881年には初代の会計検査院長に就任。同時に元老院・参事院の議員も務め、1890年には、貴族院議員に勅撰された。日本史上、岩倉使節団の他の副使らほどに目立った活躍はなかったように見えるが、むしろ山口は、政治家としてではなく、実直な実務官僚としての道を歩み、近代日本の基盤整備に多大の貢献を果たした。(武雄市歴史資料館の資料より)

2 大学入試共通テスト100日前講演会を行いました。

10月21日(木)に3年生を対象に「大学入試共通テスト100日前講演会」を実施しました。講師にベネッセコーポレーション顧問の田川祐治先生(元長崎西高校校長)をお迎えして「執念で合格を勝ち取ろう」と題して、3年生に対して、「物事の成否は『能力』の差よりも『執念』の差だ」「最後まで粘った人に吉報が届く」など熱いメッセージとエールを送っていただきました。3年生諸君、今一度気合を入れ直して第一志望を勝ち取りましょう。

3 今週の名言・・・アンドリュー・カーネギー(実業家)の言葉です。

○自ら助けない者を救おうとしても無駄である。梯子を上る意思のない者を他人が押し上げることはできない。

○チャンスに出会わない人間は、一人もいない。それをチャンスにできなかつただけである。

【解説】カーネギーホールに象徴される実業家の言葉です。自らがやる意思を持たなければ先には進めない。周囲がきっかけを与えたりサポートすることはできたとしても、本人が真剣にならなければ行動は起こらない。しかし、やる意思さえあれば成長の可能性は無限に広がります。成長する・成功するチャンスは転がっています。武高生諸君、もっと成長したい、現状を変えたいと真剣に考えていますか?

【アンドリュー・カーネギーについて】1835年生まれ、1919年没。スコットランド生まれのアメリカの実業家。崩れ行く橋を見て着想を得てカーネギー鉄鋼会社を創業し、成功を収めて「鋼鉄王」と称された。立志伝中の人物であり、ジョン・ロックフェラーに次ぐ史上2番目の富豪とされることが多い。事業で成功を収めた後、教育や文化の分野へ多くの寄付を行ったことから、慈善活動家(フィランソपी)としてよく知られている。1889年の『富の福音』はフィランソピーを志す人々への啓蒙書となっている。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週の話事成語・・・「玉石混淆」【問題】英語で表現すると?

良いものとそうでないもの、あるいは優れたものと劣ったものが、区別なく入り混じっていることのとえ。(出典:『抱朴子』より)



【由来】「混」「淆」は共に「入り混じる」という意味です。貴重な「玉」(宝玉)と、価値のない「石」が交じり合っていることから言います。「玉」は賢者、「石」は愚者の意味もあります。『抱朴子・尚博』に「真意眞偽倒し、玉石混淆す(本物と偽者を取り違え、玉と石を一緒くたにする)」とあるのに基づきます。「玉石混交」とも書きます。

5 入試によく出る漢字(最重要漢字)その3・・・この漢字書けますか?

- 51 柔らかい表現にカンゲンして言う。
- 52 事件がキエンとなり交際が始まった。
- 53 彼の研究にシサを与えてやる。
- 54 法に対する両国共通のガイネン。
- 55 インフレをヨクセイする対策。
- 56 別にな変わったこともないボンヨウな生活。
- 57 木をマサツして火を作る。
- 58 彼は人間的なミリヨクがある。
- 59 内情がフクザツでよくわからない。
- 60 勝利をカクトクする。
- 61 シンチョウに行動するようにする。
- 62 三十年間、目まぐるしくスイイした。
- 63 彼はスウコウな人格を備えている。
- 64 民主主義が国民の間にシントウする。
- 65 シンコクな顔をして考え込む。
- 66 主人公はカクウの人物だ。
- 67 文明社会からカクゼツした世界。
- 68 彼はエイビンな感覚を持っている。
- 69 住民の反対運動をカンキする。
- 70 この学校はカンキョウのいい所にある。
- 71 この運動のキュウキョクの目的。

72 キンチョウしすぎると失敗する。73 仲間とキンミツな連絡をとる。

74 最新の技術をクシする。

75 騙されないようケイカイする。

## 6 今週の一冊・・・外山滋比古の『「考える頭」の作り方』(PHP文庫)です。

**あなたは今、何のために頭を使っているだろうか?情報が氾濫するこの時代、知識を詰め込むことに、つい必死になってしまっていないだろうか。必要なのはむしろ、知識に頼らず、自分の頭で考えることである。本書では、「我流で生きる」「堂々と負ける」など、独創的な発想を生み出す「考える頭」をつくるコツを紹介。思考を鍛える面白さに気づかせてくれる一冊。**

(参考：本書裏表紙説明より)

【解説】本書は、前号で紹介した東大生、京大生が愛した『思考の整理学』の著者が、独創的なアイデアを生み出す「考える頭」のつくり方を伝授してくれます。「日本人に独創性が足りないのは、本を読みすぎているから」「頭がよくならないなら、できるだけ頭を空にしておく」など、知の巨匠ならではのこれから生きぬく独特の知恵が盛り込まれています。誰にもまねできない、自分だけの発想力を持ちたい人、必読の1冊です。

【作者・外山滋比古について】前号(第27号)を参照。

## 7 世界遺産を巡る(海外編)・・・第28回はピラミッド(メンフィスとその墓地遺跡)です。

【解説】有名なエジプトのピラミッドは、正式には「メンフィスとその墓地遺跡ーギザからダハシュールまでのピラミッド地帯」という名称で世界遺産に登録されています。この世界遺産の見どころはやはり「ギザの三大ピラミッド」でしょう。ギザの三大ピラミッドとはクフ王のピラミッド・カフラー王のピラミッド・メンカウラー王のピラミッドを指しています。上記の他にも、ジェゼル王の階段ピラミッド・ペピ1世のピラミッド・メルエンラー1世のピラミッド・スネフェル王の赤いピラミッド・スネフェル王の屈折ピラミッドと、数々のピラミッドがこの世界遺産に含まれています。「ギザからダハシュールまでのピラミッド地帯」は、その名前に端的に表れているように、エジプト古王国期の首都メンフィスと、メンフィスに都した王たちの墓地遺跡であるギザやサッカラ、ダハシュールの遺跡群が含まれています。この遺跡群の多くは、エジプト古王国期にあたるエジプト第3王朝からエジプト第6王朝期にかけて建設されました。一生に一度は本物のピラミッドを見に行きたいですね。(参考：『世界遺産人気ランキング』より)



## 8 街角グルメを訪ねて・・・第28回は佐賀市の洋食屋「かごしま」です。

佐賀なのに店名は「かごしま」。食べログやRettyで評判の「洋食屋かごしま」を紹介します。こじんまりとしたアットホームな落ち着いた雰囲気です。ライス、サラダ、貝汁がセットの定食メニューが種類豊富でとにかく安いと評判なので訪れてみました。「ビーフカツ定食(800円)」「ロールキャベツ定食(700円)」など目移りしてしまいます。この日は「牛タンシチュー定食(1,000円)」を注文。ボリュームもありコスパも高いと評判です。定食は終日注文でき、さらに値段も変わらないというから驚きです。週末のランチタイムは特に混み合うので事前に予約をしておからの来店をおすすめします。ただ、残念ながら駐車場がないので、近隣のコインパーキングを利用しました。



※残念ながらコロナ禍で現在は閉店しています。

## 9 保護者の皆様へ・・・歴史資料館の企画展「武雄から世界へ」が開催中です。

表面でも紹介していますが、10月16日(土)～11月21日(日)の日程で武雄市図書館・歴史資料館において企画展「武雄から世界へ～山口尚芳を知っていますか～」が開催されています。武雄が生んだ郷土の偉人・山口尚芳を特集した企画展です。図書館にお子様を迎えに来られた際には、是非企画展にもお立ち寄りください。

また、明日(26日)は、先週中止した芸術鑑賞会の代替プランとして佐賀東高校演劇部が「大隈重信100年アカデミア」として上演した「太陽の羅針盤～未来のきみへ100年目のメッセージ～」の演劇を1・2年生で鑑賞する予定にしています。この映像は後日一般にも公開される予定ですので、是非こちらもご覧になっていただき、この機会に明治維新や郷土の偉人の活躍について、親子での会話の話題にさせていただければ幸いです。



【英語】◇ mixture of wheat and chaff ◇ mixture of the good and bad ◇ jumble of wheat and tares

- |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 【正解】 | 51 換言 | 52 機縁 | 54 示唆 | 54 概念 | 55 抑制 | 56 凡庸 | 57 摩擦 | 58 魅力 | 59 複雑 |
|      | 60 獲得 | 61 慎重 | 62 推移 | 63 崇高 | 64 浸透 | 65 深刻 | 66 架空 | 67 隔絶 | 68 鋭敏 |
|      | 70 環境 | 71 究極 | 72 緊張 | 73 緊密 | 74 駆使 | 75 警戒 |       |       |       |